北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	婦人科腫瘍データベース構築と検体収集、保管 (B22-009)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部産婦人科学「婦人科学」 教授 加藤一喜
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	婦人科腫瘍に対する治療には手術、化学療法、放射線治療、ホルモン治療などがありますが、個別化治療法がいまだに確立されておりません。そのため大学病院は日々研究を行い、新規治療法や診断法の開発を行っています。診断・治療のために行われる検査や手術により摘出された腫瘍組織から、遺伝子を構成する核酸 (DNA や RNA) や蛋白を取り出して調べることにより、婦人科腫瘍の新しい診断法や治療法、新規治療薬の開発を目指します。
調査データ 該当期間	倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日
対象となる患者さん	倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日の期間に、当科で婦人科腫瘍 (子宮、卵巣、卵管、膣、外陰部、腹膜等に発生する疾患) に対して標準的治療法 (手術、化学療法、放射線治療、ホルモン療法等) を受けた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 手術や生検で得られた組織 (腫瘍、正常組織)、体腔液 (腹水、胸水) のうち、病理検査に用いない残余検体を利用します。また、日常診療で採取した残余血液、残余尿を利用します。倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、画像データを利用します。なお、診療のための採血が当面予定されていない場合に限り、研究のための採血をお願いすることがありますが、自己負担はありません。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は婦人科学医局研究費を使用しております。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

	また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:北里大学医学部産婦人科学「婦人科学」助教 担 当 者:太田 真見子(オオタ マミコ) 電 話:042-778−8414
備 考	